

写真：関川村でのボランティア活動の様子（4ページ参照）



## CONTENTS

### 特集

P2 福祉人材センターのご紹介

P3 地域を見守る“民生委員・児童委員、主任児童委員”

### P4 TOPICS

- 災害時の支援体制の強化に向けて
- 被災地の支援活動から
- 第61回関東ブロック母子生活支援施設研究協議会
- 第55回関東地区救護施設研究協議会
- 共同募金運動が始まります

### P6

県社協会員紹介

### P7

まちの社協レポート

～ 富岡市社会福祉協議会 ～

### P8

INFORMATION

- 寄附の御礼
- イベント情報
- ソウェルクラブ 地域開発メニューが増えました！

ホームページは  
下記からアクセス  
してください。



「福祉の仕事に就職・転職したい」「福祉の人材を採用したい」というときは、「群馬県福祉人材センター」にお任せください。

群馬県福祉人材センターのマスコットキャラクターが誕生しました。  
福祉人材センターの職員として、福祉人材と福祉事業所をつなぎます。

あなたに  
**満点な福祉職場(人材)をゴリオがご案内**

受容力や共感力が高く、  
情報や知識も豊富

水源地・群馬のブルー

カモチ

涙もろくて優しい  
(親身に相談にのるよ)



とってもパワフル。  
「福祉事業所」や「福祉職場で働きたい人」  
両方の強力な味方です。

満福 ゴリオ

かつては、ICTが進んだゴリラ世界の最先端の会社に勤めていたが、ハードな毎日に疲れていた。  
優しい人が集まる福祉職場に魅力を感じて「群馬県福祉人材センター」の門を叩き、福祉の仕事に情熱を持った人と出会った。  
そして、人材不足に悩む事業所や働きたい人をつなげる仕事に惹かれ、いつの間にか職員に。  
受容力や共感力が高く、情報や知識も豊富。

なんでゴリラなの？

福祉とイメージが合わないゴリラ。ギャップを感じますか？  
まさに「福祉」と同じ。世間のイメージとは違う、魅力いっぱい福祉現場。イメージとは違う、優しいゴリラが、本当の福祉の現場の魅力を伝えます。

特徴について

福祉人材センターの一員(職員)＝私たちと同じ思いをもつ存在。  
水源地群馬を表すブルー。  
力強くたくましい二本の腕で、福祉人材と福祉事業所をつなぎます！

満(まん)福(ぶく)ゴリオの由来

人材不足の事業所も、求職者の方も福祉人材センターに相談すれば、満足がいく、満腹な気持ちでほっこり。  
自分にぴったりの満点な職場 or 人材が見つかりHappy(福)に♡  
そんな願いを込めました。

介護分野以外の支援も！  
**保育士・保育園支援プロジェクト**

保育人材・事業所の支援も福祉人材センターでは行っています！

- 潜在保育士向け「ほいくしカフェ」
- お給料をもらいながら保育現場を体験できる「群馬deはたらこ!保育インターン」



LINE公式アカウント  
福祉の仕事に関する情報を  
配信しています



お問い合わせ  
群馬県福祉人材センター  
(群馬県福祉マンパワーセンター)  
TEL 027-2555-6600

特集  
2

# 地域を見守る

## “民生委員・児童委員、主任児童委員”

「どこに相談したらいいかわからない」と悩んだことはありませんか。そんなとき頼りになるのが、地域住民の心強いボランティア“民生委員・児童委員”です。

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱された地域の身近な相談相手です。

### ウクライナ避難民に対する支援 募金を行いました。

今年2月、ロシアによるウクライナ侵攻が始まって以来、約40人のウクライナの方が群馬県に避難して各地域で暮らしています。群馬県民生委員児童委員協議会では、慣れない生活環境の中で不安を感じている避難民の方々が、安心して安全に暮らしていけるよう支援したいと、県内の民生委員・児童委員に対して募金を呼びかけました。

5月から7月までの期間、県内の民生委員・児童委員のみなさんから、200万円以上の義援金が集まり、県に寄付しました。集まった義援金は避難民の生活支援などに使われます。

同協議会の塚田会長は、「この厳しい時期に寄付は大変じゃないかと思いましたが、少しでも力になりたいと本当に多くの委員の皆さんが賛同してくださいました」と、関心の高さに驚いています。

地域の民生委員・児童委員は、避難民の方々も含め、地域を見守る活動を今後も行っていきます。



受納式の様子



群馬県民生委員児童委員協議会

塚田征子 会長

県民児協会長・塚田征子さんに  
聞きました

民生委員・児童委員の現状は？

現在、県内で活動している民生委員・児童委員は4,143人。うち主任児童委員という主に子どもに関わる委員が各中学校区に2名程度、全県で367人います。民生委員・児童委員はどの地域にも必ずいて、生活上のお困りごとなどの相談を受けています。

ひとり暮らしの方、障害をお持ちの方、ひきこもりの方など、いろいろな事例があり、私たちが直接問題を解決できるわけではありませんが、行政や社協なども適切と思われる機関につなぎます。また、さまざまな不安をお持ちの方の心よりごころとして、お話の聞き役を務めることもあります。

以前は、生活困窮者から相談を受けて、生活保護の申請などのご相談が多かったのですが、最近は、ひとり暮らしの高齢者などから、自分に何かあっても連絡先がないというような相談が増えています。人間関係、特に家族関係がすごく希薄になつてきていることを実感しますね。

目指していることや、  
今後の課題は？

地域で悩んでいる人に「民生委員・児童委員に相談すれば、なんとか解決につながる策が見つかる」という、いざというときの相談相手になることを、何より目指しています。自分を頼つてきてくれた人の困りごとが解決すると安心します。さまざまな事例を通して自分自身もいろいろなことを学んでいます。

これからもっと高齢化が進むと、地域の中で孤立する人がさらに増えることでしょう。買い物支援などももちろん必要ですが、いつどこで災害が起こるか分からない今、災害時に一人で避難が難しい人の支援も欠かせないと思います。事前に要配慮者を把握して、もしものときに近所同士で助け合うようなしくみができれば。それが、今一番やりたいことですね。そして「子ども真ん中」社会の中でヤングケアラーの現状を知ることが大きな課題です。

## 1

### 災害時の支援体制の 強化に向けて

#### 県災害ボランティアセンターの 設置・運営の協定締結

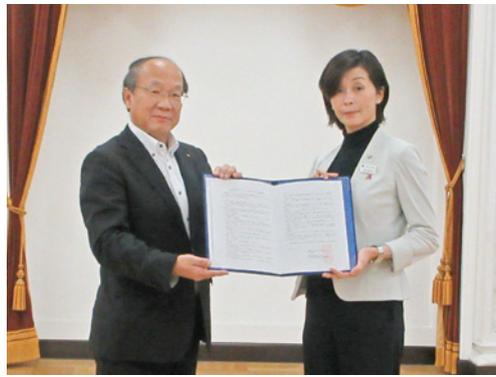
災害時の迅速な被災者支援に  
つなげるため、令和4年9月1  
日に県と県社会福祉協議会で県  
災害ボランティアセンターの設  
置や運営に関する協定を締結し  
ました。

#### 防災士会との相互協力の 協定締結

災害時はもとより、平時から  
連携して切れ目のない災害福祉  
支援活動を行うため、令和4年  
9月8日に日本防災士会群馬県  
支部と県社会福祉協議会で災害  
時における相互協力に関する協  
定を締結しました。



赤羽会長



上原県生活こども部長

## 2

### 被災地の支援活動から

令和4年8月3日からの大雨等  
により、各地で被害が発生してい  
る中、各被災地では社協が中心と  
なって災害ボランティアセンターを  
立ち上げ、住民を支える活動を展  
開しています。

新潟県村上市、関川村は、群馬  
県を含む近隣5県にボランティア  
の募集範囲を拡大して、協力者を  
募る動きも出てきたため、本会では、  
市町村社協の協力をいただく  
形で、県内社協職員有志20名をボ  
ランティア活動者として、関川村へ  
派遣しました。

参加したメンバーからは、「初め  
て災害の現場をみて、一つの場所の  
泥出しをするだけでも、人手がど  
れだけ必要かよくわかりました。」、  
「実際に自分の地域が被災した際、  
地域の人と関わっていくことに対  
して、社協の職員として日々の業  
務にも活きてくると感じた。」と  
言った声も寄せられました。



被災したハウス内の清掃



活動先とのマッチングの様子

3

「第61回 関東ブロック 母子生活支援施設研究協議会」



県母子協 内藤会長あいさつ

令和4年7月7日～8日の二日間に行われた、オンラインを併用したハイブリッド形式にて第61回関東ブロック母子生活支援施設研究協議会「母子生活支援施設の課題と役割を考える」が開催されました。

行政説明においては「ひとり親家庭支援における母子生活支援施設の役割について」というテーマで厚生労働省子ども家庭局総務課課長補佐 胡内敦司氏より講演が行われました。

分科会においては、3名の助言者の方々を招き3つの分科会に分



厚労省・胡内氏による講演の様子

かれて実践報告が行われました。また助言者の先生方には、「家庭養育優先の理念」を踏まえた母子生活支援施設の支援機能とは」というテーマでパネルディスカッションを実施し、異なる職種・視点から母子の支援に対する意見交換を行って頂きました。

初の取組みとなるハイブリッド形式での開催については課題も散見されましたが、コロナ禍においても貴重な情報交換の場となり、今後の母子生活支援施設の在り方について考える良い機会となった協議会でした。

4

「第55回 関東地区 救護施設研究協議会」

令和4年7月1日、第55回関東地区救護施設研究協議会『これからの救護施設の役割』～時代のニーズに 대응続ける救護施設を目指して～がオンラインで開催されました。

「コロナ禍において『最後のセーフティネット』としての役割を果たす救護施設がどうあるべきか、その課題、役割等について協議、確認、共有する場となりました。

内容

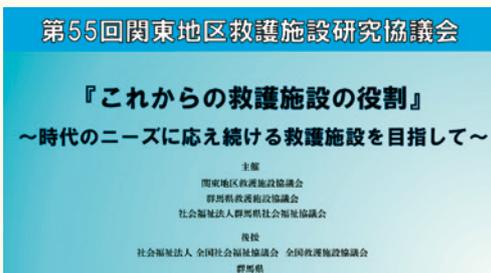
- 第1分科会 多様な福祉人材の確保及び育成
- 第2分科会 生活困窮者支援の取り組み
- 第3分科会 個別支援計画に基づいた利用者支援
- 第4分科会 健康・栄養管理の取り組み

記念講演

演題 「求められる地域化について」  
 講師 東京福祉大学社会福祉学部 准教授 北爪 克洋 氏



東京福祉大学・大学院 北爪 克洋 | Katuhiro Kitadume



5

## 共同募金運動が始まります



赤い羽根共同募金は、「つながりをたやさない社会づくり」を目指して人と人とのつながりを大切にする福祉活動を支援しています。

群馬県では75回目となる共同募金運動が10月1日から始まります。

「子育てネットワークゆるいく」のみなさん



## つかいみちのご紹介

子育て中の親子が集まって交流できる「子育てサロン」や「赤ちゃんがいく!」「赤ちゃんから学ぶいのちの授業」など、赤ちゃんとのふれあいを通していのちの大切さを伝える出前講座に取り組んでいます。

その他にも、さまざまな福祉活動に取り組む団体を支援しています。



二次元コードより助成レポートをご覧ください ▶



今年も、赤い羽根募金にご理解とご協力をお願いいたします

## 問い合わせ先

社会福祉法人群馬県共同募金会 〒371-0843 前橋市新前橋町13-12 電話：027-255-6596  
詳しくは、群馬県共同募金会HPをご覧ください ▶ <https://www.akaihane-gunma.or.jp>

※お住いの市町村の窓口の名称が変わります。令和5年4月より、〇〇共同募金委員会（例：前橋市共同募金委員会）

## 県社協会員紹介

助け合い、支え合う、県社協の仲間を紹介します

## 一般社団法人 群馬県社会福祉士会

「社会福祉士」をご存じですか？福祉施設や病院、学校、社協、行政の相談窓口などで、「〇〇相談員」「〇〇支援員」「〇〇ソーシャルワーカー」等の呼称で活躍していることが多く、困りごとを抱えた人に寄り添って支援しています。

社会福祉士会は、社会福祉士を会員とする団体で、支援力向上のために、研修の企画実施、会員相互の情報共有と連携の場づくりを行っています。

また、専門職集団としての強みを生かして、成年後見「ばあとなあ群馬」や群馬県受託事業「障害者権利擁護センター」などを行っています。

困っている人が身近にいたら、私たちのことを思い出してください。



住所 前橋市新前橋町13-12 群馬県社会福祉総合センター7階

TEL 027-212-8388 E-mail [info@gunma-csw.or.jp](mailto:info@gunma-csw.or.jp)

HP [www.gunma-csw.or.jp](http://www.gunma-csw.or.jp)



# まちの 社協 レポート



各市町村社協の  
取り組み、活動を  
レポートします

『ともに支え合い  
誰もがいきいき  
元気なまちとみおか』  
を目指して

富岡市社会福祉協議会では、障害の有  
無や年齢にとらわれず、全ての市民が交  
流できる場として、地域ふれあい事業を  
実施しています。地域ふれあい事業では  
大きく二つのイベントを実施しています。

一つ目はさつまいも挿し苗・収穫祭で  
す。民生委員・児童委員やボランティア  
連協、障害者団体など関係団体の協力の  
もと植え付けを行い、秋には小学生以下  
の親子を対象に収穫祭を行っています。

二つ目はわくわくフェスティバルです。  
子どもからお年寄り、障害を持った方、  
ボランティア等が一堂に会し、運動会や  
模擬店を通して「誰もが安心して暮らす  
ことのできる地域」となるよう親睦を深  
めています。

新型コロナウイルスの影響により開催  
中止を余儀なくされてきましたが、今年  
度はミ字コロナを意識した開催方法で、  
再び顔を合わせて実施ができるよう取り  
組んでいます。



さつまいも挿し苗  
(感染症対策を講  
じての開催時)



わくわくフェスティバル (過去の開催時)

## 職員からひと言

わくわくフェスティバルの  
協力団体の中には、高校J  
C部の生徒もいます。そこ  
での経験が福祉の道を目指す  
きっかけとなった生徒がいる  
など、イベントを通して福祉  
の輪が広がっています。

## 社会福祉法人 富岡市社会福祉協議会

群馬県富岡市富岡1439番地1

TEL 0274-70-2232

FAX 0274-62-6223

富岡市社会福祉協議会  
ホームページ



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和4年度

# ボランティア活動保険

商品パンフレットは  
こちら  
(ふくしの保険ホームページ)



## 保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割引適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】特定感染症 重点プラン	
ケガの 補償	死亡保険金		1,040万円			
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額		6,500円			
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円		
		外来の手術		32,500円		
	通院保険金日額		4,000円			
賠償 責任	特定感染症		補償開始日から10日以内は補償対象外(*)		初日から補償	
	地震・噴火・津波による死傷		×	○	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)			
年間保険料			350円	500円	550円	

\*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

## <基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

## ◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。



## ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

## 送迎サービス補償

(傷害保険)

## 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

## 団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事  
保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03 (3349) 5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

## 取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03 (3581) 4667  
受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

〈SJ21-10723より抜粋して作成〉

# INFORMATION



## お知らせ

### 寄附の御礼

大和証券株式会社 高崎支店様から寄附金をいただきました

令和4年6月28日(火)に、大和証券株式会社 高崎支店様から寄附金をいただきました。今回の寄附は、創業120周年記念事業「こどもの未来プロジェクト」の一環として実施されたもので、地域福祉の推進のために活用させていただきます。



### イベント情報

介護の日・福祉の仕事フェア  
～『自分らしく生きる』思いに寄り添うということ～

【日時】11月2日(水)12:30~16:30

【内容】(第1部) 落語&講演会 (定員300名)

前座 介護亭楽珍「三途の川の渡り方」

演題 「最期まで目一杯生きる」

講師 緩和ケア 萬田診療所 萬田 緑平 院長

(第2部) 就職相談会

前橋市内の福祉事業所と就職等の相談ができます。

【対象】介護事業所に就職を希望する方、福祉施設職員、介護に興味がある方、一般の方 等

【会場】群馬県社会福祉総合センター(前橋市新前橋町13-12)

● 第1部: 8F ホール

● 第2部: 6F 601研修室、ロビー等

主催/問い合わせ先

群馬県福祉人材センター・ハローワーク前橋 ☎ 027-255-6600



### ソウェルクラブ 地域開発メニューが増えました!

ソウェルクラブの会員証の提示で、サービスが受けられます!

●株式会社 サンワ

優待特典① ガソリン代1Lあたり10円引き

優待特典② キズ修理(钣金塗装) 工賃(部品代金除く)から15%OFF

●株式会社 三商 玉村ゴルフ場

優待特典 18ホール来場時、ホットコーヒー1杯サービス(同行者3名まで)

※サービス提供店舗やその他利用条件については右記からご確認ください。



▲その他優待が受けられる施設はこちらからご覧ください。

## 福祉ぐんま

編集/発行

社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会

\*福祉ぐんまは、群馬県社協ホームページでもご覧になれます。

〒371-8525 (専用郵便番号)

群馬県前橋市新前橋町13-12

群馬県社会福祉総合センター内

T E L 027-255-6033 (代表)

F A X 027-255-6173

U R L <https://www.g-shakyo.or.jp/>

発行日 令和4年10月1日

### あとかき

最近、副業(兼業)への関心が、年々増加傾向にある。

収入を増やしたい、1つの仕事だけでは生活できないなど、理由は様々であるが、かつては、他社で就業し副業することについて消極的であった企業側も、現在はスキルアップ、優秀な人材の流出防止等のメリットを挙げている。

過重労働や情報漏洩などのリスクもあるが、今や副業の考え方も過渡期を迎えている。国が副業を促進することで、私ども老人福祉施設の人材不足もダブルワークで補填され助けられている。

ただ、先行き不透明感を拭えない「コロナ禍」の収束だけが、気がかりである。

編集委員 県老人福祉施設協議会 広報委員長  
福岡 聡